



## 「三小でよかった」 運動会を終えて、閉会式で話したこと

令和2年10月21日（水） 校長 山越正人

### 保護者のみなさま

気持ちの良い、秋晴れのもと「運動会」を行うことができました。子供たちのはじける笑顔と精一杯の競技や演技をご覧いただけて嬉しく思います。平日開催となり、お越しいただけなかった保護者の皆様、申し訳ありません。子供たちから今日の様子をお聞きになってください。さて、こちらでは閉会式に子供たちに伝えたことをお知らせします。

以下「閉会式」原稿です…

今日、まず言えるのは「運動会をできてよかった」ということです。皆さんの走る姿や、踊る姿を初めてみることができました。マスクをとった皆さんの顔もようやく見ることができました。うれしかったです。

うれしかったことはほかにもたくさんあります。TV 観戦しているクラスから応援の声や歓声が聞こえたこと。5年生が自然に6年生の応援を始めたこと。応援団がアドリブで下級生の徒競走を応援したこと。

1・2年生の「三小ミッキー大集合」は一生懸命でかわいらしく、3・4年生の「三小ソーラン」は元気で力強い。そして5・6年生の「集団行動」は凛として美しかったです。

皆さんに覚えておいてほしいのは「人の本気は心を打つ」ということです。私のそばにいる二人の応援団長も本気でやったからこそ、いま「心が動いているのです」

学校で大切なことは「年上の者たちが年下の者が頑張る姿をやさしく見守ること」そして何よりも「上級生が下級生のあこがれ」であることです。今日の5年生6年生の姿はまさにあこがれそのものでした。

最後に「三小でよかった。みんなと一緒によかったです。運動会お疲れ様。ありがとう。」